

18: ドナー別(血縁・非血縁)・移植細胞ソース別(骨髄・末梢血・さい帯血)による移植成績

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 諫田 淳也	京都大学医学部附属病院	血液内科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
熱田 由子	日本造血細胞移植データセンター	
今井 陽俊	小樽市立病院	血液内科
内田 直之	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
加藤 光次	九州大学病院	血液・腫瘍・心血管内科
加藤 俊一	東海大学医学部付属病院	小児科・細胞移植再生医療科
神田 善伸	自治医科大学附属病院・附属さいたま医療センター	血液科
鋤塚 八千代	名古屋大学医学部附属病院	先端医療開発部 クリニカルデータ 品質管理部門
小林 武	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
澤 正史	安城更生病院	血液・腫瘍内科
角南 一貴	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	血液内科
瀬尾 幸子	獨協医科大学病院	血液・腫瘍内科
田中 正嗣	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	血液内科
谷口 修一	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液科
田淵 健	がん・感染症センター 都立駒込病院	小児科
塚田 信弘	日本赤十字社医療センター	血液内科
寺倉 精太郎	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
永田 泰之	浜松医科大学	血液内科
西脇 聡史	名古屋大学医学部附属病院	先端医療・臨床研究支援センター
藤田 直人	広島赤十字・原爆病院	小児科
松野 良介	昭和大学藤が丘病院	小児科
松本 公一	国立成育医療研究センター	小児がんセンター
三田村 真	ノバ・バイオメディカル株式会社	
三原 英嗣	愛知医科大学病院	血液内科
宮村 耕一	名古屋第一赤十字病院	血液内科
森島 泰雄	愛知医科大学	造血細胞移植振興寄附講座/中部 さい帯血バンク
薬師神 公和	神戸大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
渡邊 修大	名鉄病院	小児科
石山 謙	金沢大学附属病院	血液内科
木村 文彦	防衛医科大学校病院	血液内科
長藤 宏司	久留米大学病院	血液・腫瘍内科

屋部 登志雄	日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	検査部検査開発課
今橋 伸彦	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター	血液内科
南谷 泰仁	京都大学医学部	腫瘍生物学講座
後藤 守孝	東京医科大学病院	血液内科
小沼 貴晶	東京大学医科学研究所附属病院	造血細胞移植チーム
宮尾 康太郎	安城更生病院	血液・腫瘍内科
栗田 尚樹	筑波大学附属病院	血液内科
稲本 賢弘	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
小林 真一	防衛医科大学校病院	血液内科
河村 浩二	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
小松 恒彦	帝京大学ちば総合医療センター	血液内科
大屋敷 一馬	東京医科大学病院	血液内科
加藤 啓輔	茨城県立こども病院	小児専門診療部 小児血液腫瘍科
河野 健太郎	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院	血液内科・腫瘍内科
平川 経晃	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
藤原 慎一郎	自治医科大学附属病院	無菌治療部/血液科
稲垣 二郎	北九州市立八幡病院	小児科
徳永 雅仁	公益財団法人慈愛会 今村総合病院	血液内科
後藤 辰徳	名古屋第一赤十字病院	血液内科
小林 彩香	防衛医科大学校病院	血液内科
柴崎 康彦	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・血液内科
田上 晋	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
林 裕美	Eurocord - Hopital Saint Louis/Paris VII	
平山 雅浩	三重大学医学部附属病院	小児科
渡邊 瑞希	京都大学医学部附属病院	血液内科
新家 裕朗	福井大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
安藤 太基	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	血液内科
岡田 陽介	防衛医科大学校病院	血液内科
加藤 せい子	東京大学医科学研究所附属病院	造血細胞移植チーム
竹内 裕貴	安城更生病院	血液・腫瘍内科
藤野 貴大	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
光吉 貴哉	京都大学大学院医学研究科	血液腫瘍内科学

2. 会議開催記録(2019年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2019/1/14	国立がん研究センター	進行中の研究の進捗状況報告・確認、新規研究提案に関して
2019/7/13	名古屋第一赤十字病院	進行中の研究の進捗状況報告・確認、共同研究提案

3. メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から 2019 年 12 月末時点まで）
（ 665 ）回

4. WG の今後の活動方針・抱負など

前年同様、①積極的に他のWGに共同研究を提案する ②海外との共同研究を積極的に進める ③移植ソースの適切な供給体制を整えるための解析等で提供機関との共同研究を進める という3つの行動目標のもとに活動をしています。

当WGから、一つでも有用なエビデンスを生み出せるように、努力いたします。